



## 庫花コスモス (秋桜)

### 🌸花言葉「善行」

コスモスという名前はギリシャ語の秩序、転じて美を意味した語に由来しています。(ギリシャで美は、調和と秩序から生まれてくるものとされています)

## ▶2020熊本第一信用金庫の現況／目次

01	ごあいさつ
02	基本方針
03	当金庫の概要
04	総代会制度
06	主な事業内容
07	リスク管理
08	内部管理態勢とコンプライアンス
11	地方創生
13	中小企業の経営改善への取組状況
14	地域活性化への取組み
16	当金庫における金融ADR制度への対応の概要
17	環境問題への取組み
18	顧客保護等への取組み
20	個人情報保護
21	金融犯罪の防止について
22	営業のご案内
25	主な手数料のご案内
26	トピックス
31	信用金庫と信金中央金庫グループのネットワーク
32	営業店ネットワーク
33	資料編
53	当金庫のあゆみ



会長(代表理事)  
森本 孝



理事長(代表理事)  
豊住 賢一

## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。私ども熊本第一信用金庫をより深くご理解いただくために、業務内容、業績等を取りまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。ご覧いただくと共にこれからも当金庫をより一層ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国の経済は、政府の施策等により個人消費が底堅いほか、設備資金も緩やかではありますが底堅く推移してきました。大企業の景気判断も概ね良好な水準にあるなど、全体的には回復基調を維持しているという見方となっていました。しかし、年末に中国で発生した新型コロナウイルスによる感染症が瞬く間に世界に蔓延し、日本国内でも多くの感染者がでています。このことで中国をはじめとして世界経済が著しく停滞しており、日本でも非常事態宣言が発出されるなど経済活動に大きな制約が出てきています。経済の停滞は既に世界規模で起こっており、日本を含め世界の株式市場も大きく下落をしています。新型コロナウイルスによる感染症という不安要因が払拭されないこともあり、わが国の景気・経済の先行きに関して不透明な状況にあります。

一方、地域の経済も人口の減少、中小企業数の減少に伴い地域の基礎的経済力が縮小していることに加え、後継者問題や人手不足といった問題を抱え、前述の新型コロナウイルス感染拡大により、人・物・カネの流れが止まっており、地方経済への影響が心配されます。

そのような中、熊本においては八代港の国際クルーズ拠点「くまもんポート八代」の完成、交流人口の拡大を目的に、国際線・国内線ターミナルビルの一体化整備を進める「阿蘇くまもと空港」の運営の民営化もスタートしました。更に翌年は陸の玄関口となる「新熊本駅ビル」が開業し、陸・海・空の強固なゲートウェイが開かれることになり、観光の目玉である阿蘇への人物・物流の大動脈である「国道57号線」や「JR豊肥線」の復旧が待たれる状況です。現在は新型コロナウイルスによる感染症のために残念ながら人の往来が止まっていますが、終息したのちには、国内外のたくさんの観光客を受入れる環境が整いつつある状況となっています。

業績について概略を申し上げますと、会員数は期末において23,124名(前期比68名減)、出資金は3,643百万円(前期比224千円増)となりました。

預金積金は、熊本城復興支援定期預金「天守閣」「阿蘇草原再生定期預金」等を推進した結果、期末残高は282,311百万円(前期比2,459百万円、0.87%増)、期中平残は283,672百万円(前期比3,735百万円、1.33%増)と増加しました。貸出金は事業性融資の推進を進め、住宅ローンや「教育カードローン」「フリーローン」等個人向け融資も積極的に推進し、加えてコロナウイルス感染症対策資金に全力で取り組み期末残高は159,830百万円(前期比1,650百万円、1.04%増)、期中平残は156,596百万円(前期比1,291百万円、0.83%増)となりました。

期中の損益は、昨年度に引続き金融機関の競合激化や長引く低金利等の影響などから、貸出金利息が減少したため、業務収益は減少しました。一方、費用も預金利息、経費が減少しました。結果、コア業務純益は1,092百万円(前期比55百万円減)、経常利益は942百万円(前期比212百万円減)、当期純利益588百万円(前期比63百万円減)となりました。

当金庫は本年創立70周年を迎える記念すべき年となります。今回の新型コロナウイルスの感染症拡大により、県内のお客様も多大な影響・被害を受けています。4年前の熊本地震の発生時と同様に影響・被害を受けられた中小企業の経営支援や金融の円滑な対応等のため、お客様に寄り添い、きめ細かな対応に役職員全員努めております。加えて、熊本城復興支援定期預金「天守閣」を発売し熊本城復興のお手伝いを致しております。熊本を担うお取引先等の独身の方々に出会いの場を提供するための「めぐり逢いパーティー」の開催、キッズしんきん教室や阿蘇の草原を守る支援、ロアツソ熊本や熊本ヴォルターズへの支援等を通じて、地域の発展や活性化のための取組も継続的に行っております。

今年度も引き続き、中小企業の経営支援等に務め、地域貢献に全力を傾注し、金融仲介機能を発揮して地域経済を支える為、役職員一同業績の向上に邁進する所存でございますので、本年もなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。